

講義概要

我々の社会生活に不可欠な「情報」というものを、人間との関わりから考えていく。まず、情報の性質や表現方法を明らかにし、情報についての基本を学ぶ。次に、人間における情報処理として、人間の感覚、記憶、脳機能、遺伝子などについて解説する。さらに、人間および社会と情報の関係として、ロボットやインタフェースなどにも触れ、教育や社会との関わりを考える。そして、そこから人間にとって情報とは何なのかを導き出したい。

講義の目標

情報という観点から人間をとらえ、情報と人間の関係について考えていく際に必要となる知識を習得することを目標とする。

講義方法

本科目は事前の申請により、活動制限レベル（授業）には関係なくオンライン授業として実施することになっている。原則としてパソコンによるスライド提示をライブ中継するが、出張などで不在の場合はオンデマンド配信（録画したコンテンツを配信）とすることもある。

ライブ配信には Microsoft Teams の「ビデオ会議」を使用することにする（Teams が使用できない場合は Zoom を用いることもある）。また、オンライン授業はすべて録画して、オンデマンド配信できるようにするが、その場合は Teams に記録されたものを用いる予定である。

詳細については、履修登録後に manaba の本科目のコースのニュースで確認すること。

成績評価方法

授業時間内の筆記テスト（100 点満点）の成績により評価する（筆記テストは教室において実施する予定である）。ただし、毎回の授業において respon による出席確認を行い、第 13 回までの授業において 9 回以上の出席が確認できなければ、例外なく筆記テストの受験資格がないものとする。

授業計画

1.	情報とは何か	09/22
2.	情報の表現 1	09/29
3.	情報の表現 2	10/06
4.	遺伝子と進化	10/13
5.	知覚と運動	10/20
6.	視覚系	10/27
7.	聴覚系	11/03 ※オンデマンド
8.	記憶と学習	11/10
9.	脳の情報処理	11/17
10.	ニューラルネットワーク	11/24
11.	ロボット	12/01
12.	インタフェース	12/08
13.	教育や社会との関わり	12/15
14.	筆記テスト（教室での実施を予定）	12/22
15.	質疑応答（オフィスアワー形式）	01/12

※第 15 回はオフィスアワーとし、オンラインで質問等を受け付ける。

教科書：なし

参考書：山口 和紀 著：東京大学教養学部テキスト『情報 第2版』東京大学出版会（2017）

受講上の注意

<先端理工学部の諸君へ>

本科目は瀬田学舎の全学部・全年次を対象としたものですが、先端理工学部（以下、理工学部を含む）の学生には推奨しません。本来、先端理工学部固有の科目において学習すべき内容（と先端理工学部生として当然身につけているはずの教養）を講義するからです。すでに学習した内容、もしくは今後学習する内容を聴くことになるので、本科目により新たな知識を得ることはないと思います。教養教育科目の総合科目については、他の科目（理工系でない科目）を受講することを強く推奨します。

<社会学部・農学部の諸君へ>

本科目は瀬田学舎の全学部・全年次を対象としたものであり、学部の1年次生が有する基礎知識を前提に講義をしますが、「情報」というものを取り扱う上で、どうしても<数字、数式、計算>が必要となります。また、定期試験（筆記テスト）の問題には<計算問題>が含まれることを了解しておいてください。

上記を踏まえて、それでもまだ本科目を受講しようというのであれば、下記の点を考慮して受講するかどうかを判断してください。

- (1) シラバス（講義概要）の内容をよく確認してください。また、第1回の授業でガイダンスを行うので、必ず出席してください。
- (2) 本当に講義内容を聴きたい人だけが出席することを求めます。
 - (a) オンライン授業の場合、毎回の参加（出席）を確認します。
 - (b) 成績はすべて筆記テストの結果に基づいて評価します。
 - (c) 講義ノート（スライド）についてはすべてWebサイトにて公開しています。
 - (d) オンラインでの授業は授業後、録画をオンデマンド配信します。授業に出席しさえすれば単位が取得できることを保証するわけではありません。
- (3) 対面授業においては、私語など授業の妨げになる行為には厳格に対処し、ルールが守れない人には退席を命じています。それと同様にオンライン授業においても、迷惑行為があった場合は退席を命じます。
- (4) 講義内容は多岐にわたり、かつ、大学での教養科目としてのレベルを保つものにし、定期試験（筆記テスト）では授業内容についての理解度を問います。
- (5) これまでの合格率（10%以下）を見れば、本科目がいわゆる楽勝科目ではないことは分かると思うので、簡単に単位がほしいというのであれば他の科目の受講を勧めます。

<参考>

2021年度：受講者数＝65名、合格者＝3名、合格率（対受講者数）＝4.6%
2020年度：受講者数＝46名、合格者＝5名、合格率（対受講者数）＝10.9%
2019年度：受講者数＝62名、合格者＝5名、合格率（対受講者数）＝8.1%
2018年度：受講者数＝44名、合格者＝3名、合格率（対受講者数）＝6.8%
2017年度：受講者数＝95名、合格者＝4名、合格率（対受講者数）＝4.2%

授業用 Web サイト

<http://www.elec.ryukoku.ac.jp/kobori/resume.html>

講義ノートや関連情報を公開しているので、そちらも参考にしてほしい。

特に、講義ノートのPDFは各自ダウンロードして予習・復習に活用すること。

プリントアウトし、授業において書き込みできるようにしておくとうい。